特別シンポジウム　Special Symposia

3月28日（日）9:45〜12:00　　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール

特別シンポジウムCS01
理事会企画シンポジウム「薬物乱用防止について薬学研究者・薬剤師が知っておくべきこと」
オーガナイザー：山田　清文、筒井　啓徳

9:45 〜 9:55
CS01-1　日本薬学会の社会貢献
日本薬学会会頭　松木　則夫

9:55 〜 10:25
CS01-2　薬物乱用の現状とその防止対策
厚生労働省　國枝　卓

10:25 〜 10:55
CS01-3　薬物乱用防止における学校薬剤師の役割
岡山県薬剤師会　堀部　徹

10:55 〜 11:25
CS01-4　大麻の危険性
福岡大薬　藤原　道弘

11:25 〜 11:55
CS01-5　医療用麻薬によるがん疼痛治療と精神依存
星薬大　鈴木　勉

11:55 〜 12:00
まとめ
名大病院薬　山田　清文

3月28日（日）16:00〜18:00　　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール

特別シンポジウムCS02
薬薬薬連携シンポジウム「6年制薬剤師教育に対する考え、取り組み、期待」
オーガナイザー：五味田　裕、加藤　圭一郎

16:00 〜 16:05
司会者のことば

16:05 〜 16:35
CS02-1　日本薬剤師会とオール薬剤師の立場からの6年制薬剤師教育への取り組みと期待
日本薬剤師会　児玉　孝

16:35 〜 17:05
CS02-2　6年制薬剤師教育に対する病院薬剤師としての考え、取り組み、期待
日本病院薬剤師会　堀内　龍也

17:05 〜 17:35
CS02-3　6年制薬剤師教育への期待
前参議院議員　藤井　基之

17:35 〜 18:00
総合討論と司会者まとめ

3月30日（火）9:30〜11:45　C-C会場　コンベンションセンター　レセプションホール

特別シンポジウムCS03
日本薬学会製薬工業協会企画シンポジウム
「創薬における幹細胞研究の動向―iPS細胞の企業利用を中心として―」
オーガナイザー：座間　富明、大谷　章雄

9:30〜9:40
製薬協のシンポジウムを企画して
製薬協研究開発委員会専門委員長　座間　富明

9:40〜10:20
CS03-1　製薬企業としてのiPS細胞研究
武田薬品工業医薬研究本部開拓研　中西　淳

10:20〜11:00
CS03-2　ヒトiPS細胞を用いた新規in vitro毒性評価系の構築に向けた基盤整備の現状
医薬基盤研／阪大院薬　水口　裕之

11:00〜11:40
CS03-3　霊長類多能性幹細胞由来拍動心筋細胞を用いた薬剤誘発性QT延長試験
リプロセル　淺井　康行

11:40〜11:45
終わりに
製薬協研究振興部長　岡崎　靖

3月30日（火）12:00〜16:40　C-E会場　コンベンションセンター　イベントホールB

特別シンポジウムCS04
高校生シンポジウム（高校生による研究発表会）及びそれに関連した講演
オーガナイザー：勝　孝、有元　佐賀恵、加来田　博貴

12:00〜13:00
L24　「研究」は本当に面白いのか？自分の生きる道を考えよう
岡山大院医歯薬　早津　彦哉

13:15〜13:20
開会の挨拶
岡山大院医歯薬　勝　孝

13:20〜13:30
CS04-1　先人達が努力の果てに手にしたもの
〜世界初の人工医薬品アセチルサリチル酸を完成させるまでの努力と苦労
岡山県立岡山操山高等学校　○久永　なつみ、○西山　渚紗

13:30〜13:40
CS04-2　薬を飲むときの最適条件の探索II
愛媛県立宇和島東高等学校　○島津　壽子、○佐竹　玲奈、樋口　香菜里、濱田　哲平

13:40〜13:50
CS04-3　薬と飲み物の関係
高松第一高等学校　○川滝　成美、童銅　はる香、松岡　沙穂、中野　百恵

13:50〜14:00
CS04-4　身近な生物に対する市販薬の影響
鳥取県立米子東高等学校　板持　雅知、○大樂　美奈、村上　真央

14:00〜14:10
CS04-5　ビタミンCの定量
香川県立丸亀高等学校　○香川　真貴子、○笠井　昭良、山地　康之、大矢根　隆志、
中野　剛志、穴田　千晶、藤川　諒太、氏家　弘瑛、宮田　和明

14:10～14:20

休憩

14:20～14:30

CS04-6 金属イオンの抗菌作用　～抗菌作用の規則性とメカニズム

岡山県立岡山一宮高等学校　○池上　真子、○斎藤　貴子、○疋田　麻梨亜

14:30～14:40

CS04-7 製鉄スラグによる生命の活性化について

広島大学附属福山中・高等学校　○滝　貴大、林　信希、水田　舜、守屋　真我、横田　健

14:40～14:50

CS04-8 伝導性高分子を利用した置換基定数の測定

鳥取県立鳥取東高等学校　○坂本　直柔、木下　貴文、竹内　成美、○丸山　莉央

14:50～15:00

CS04-9 実験室内でのオオイタサンショウウオの繁殖方法の確立を目指して

清心女子高等学校　○鈴木　美有紀、三宅　舞

15:00～15:10

CS04-10 生ごみでバイオ燃料はつくれないか

島根県立松江東高等学校　○青戸　彩夏、○田中　優子

15:10～15:20

休憩

15:20～15:30

CS04-11 校庭のクスノキなどから分離した物質とその性質について

岡山県立岡山朝日高等学校　○伊藤　綾、○堀内　雄貴、○山田　聖子、○須田　智江、藤岡　竜矢、大杉　明日香、只平　望、飛松　秀、妹尾　圭、大黒　智史、藤本　聡子、羽井佐　郁恵

15:30～15:40

CS04-12 植物と糖

高知県立高知小津高等学校　○斧　紗耶佳、○瀧石　朋大、○下村　和輝、○野本　裕也

15:40～15:50

CS04-13 納豆に含まれるγ-ポリグルタミン酸を利用した水質浄化

徳島県立脇町高等学校　○岸　拓磨、○前田　瑶介、○尾花　佳彦、○中山　一秀

15:50～16:00

CS04-14 ねぇ知ってる？～お茶の消臭効果

山口県立山口高等学校　○末永　詩織、田坂　愛希子、前原　有紀子、本永　加奈美、○安田　汐織

16:00～16:10

休憩

16:10～16:30

大学研究者からのメッセージ

「見えないものを見えるようにする技術：

生命現象を分子イメージングで可視化、創薬に革命が起こる？　薬学からの発信」

岡山大院医歯薬／理化学研　榎本　秀一

16:30～16:40

総評（参加賞 授与）

岡山大院医歯薬　勝　孝

スポンサードシンポジウム　Sponsored Symposia

3月29日（月）9:00〜11:30　　C-L会場　グランヴィア4F　フェニックスイースト

スポンサードシンポジウムSS01
味覚と健康：食品中の呈味成分の栄養・生理学
Taste and Health: Nutritional and Physiological Significances of Taste Substances in Daily Foods
オーガナイザー：森山　芳則、鳥居　邦夫

9:00〜9:25
SS01-1　味覚の生理学：甘味うま味センサーによる生体エネルギー調節
九大院歯　二ノ宮　裕三

9:25〜9:50
SS01-2　味嗅覚及び内臓感覚を介した自律神経機能調節
新潟大医　新島　旭

9:50〜10:15
SS01-3　グルタミン酸とアスパラギン酸の化学伝達を司る小胞型トランスポーターの構造と機能に関する研究
岡山大院医歯薬　森山　芳則

10:15〜10:40
SS01-4　味覚による咀嚼・嚥下調節
新潟大院医歯　山村　健介

10:40〜11:05
SS01-5　うま味刺激による唾液分泌反射を応用した味覚障害の治療について
東北大院歯　笹野　高嗣

11:05〜11:30
SS01-6　味覚および内臓感覚と脳機能変化
味の素ライフサイエンス研　鳥居　邦夫

3月29日（月）13:30〜16:30　　T-B会場　津島　A21

スポンサードシンポジウムSS02
有機化学者のための放射光利用最前線―微小単結晶・粉末試料結晶構造解析―
（SPring-8利用推進協議会　第7回有機・粉末結晶構造解析研究会）
オーガナイザー：三浦　圭子、柳　和則

13:30〜13:40
研究会代表挨拶
いばらき量子ビーム研究セ　大橋　裕二

13:40〜14:10
SS02-1　SPring-8 BL38B1の紹介
高輝度光科学研究セ　馬場　清喜

14:10〜14:40
SS02-2　SPring-8利用結果報告　―低分子微小結晶の精密解析―
徳島文理大香川薬　山口　健太郎

14:40〜14:50
休憩

14:50〜15:20
SS02-3　SPring-8 BL19B2粉末X線回折の紹介
高輝度光科学研究セ　大坂　恵一

15:20〜15:50
SS02-4　SPring-8利用の医薬品粉末結晶解析例の紹介
東邦大薬　寺田　勝英

15:50～16:20
SS02-5　放射光を用いた粉末X線回折法による錠剤中の微量の結晶多形の測定
田辺三菱製薬　増田　勝彦

16:20～16:30
総括
高輝度光科学研究セ　山川　晃

3月30日（火）13:30～16:30　T-A会場　津島　50周年記念館

スポンサードシンポジウムSS03
最新理論化学計算の現状と創薬化学との接点
Current Trends of Theoretical and Medicinal Chemistry
オーガナイザー：宮地　弘幸、常盤　広明

13:30～13:35
はじめに
立教大理　常盤　広明

13:35～14:20
SS03-1　ONIOM法を用いたタンパク質内での化学反応および有機金属触媒反応の理論研究
京大福井謙一記念研究セ　諸熊　奎治

14:20～14:50
SS03-2　タンパク質－リガンド複合体の構造モデリングとフラグメント分子軌道法による結合エネルギー計算
京大院薬　北浦　和夫

14:50～15:20
SS03-3　分子構造を基盤としたシグナル伝達と転写制御
横浜市大医　緒方　一博

15:20～15:50
SS03-4　核内受容体リガンドの論理的創製を目指して；PPARを例に
岡山大院医歯薬　宮地　弘幸

15:50～16:10
SS03-5　創薬標的としての核内受容体とプロテアーゼ
昭和薬大　山本　恵子

16:10～16:30
SS03-6　分子シミュレーションによる蛋白質の分子認識機構とドラッグデザインへの可能性
理研基幹研　杉田　有治

130年会記念融合型シンポジウム
Memorial Symposia of the 130th Annual Meeting

3月28日（日）13:30〜15:30　C-J会場　グランヴィア4F　フェニックスウェスト

130年会記念融合型シンポジウムMS01
体内時計を利用した創薬から治療戦略まで
Drug Discovery and Development of Chronotherapy Based on the Biological Clock

オーガナイザー：柴田　重信、守屋　孝洋

13:30〜13:32
MS01-1　オーガナイザー挨拶・主旨説明
早稲田大院理工　柴田　重信

13:32〜13:56
MS01-2　糖尿病の時間治療
自治医大臨床薬理　安藤　仁

13:56〜14:20
MS01-3　Ramelteon：睡眠障害治療薬としての新規メラトニン受容体作動薬
武田薬品医薬研究本部　加藤　浩紀

14:20〜14:42
MS01-4　神経幹細胞の概日リズムと時間治療への応用
東北大院薬　守屋　孝洋

14:42〜15:06
MS01-5　時計遺伝子を基盤としたメタボリックシンンドローム予防ならびに治療戦略
日本大薬　榛葉　繁紀

15:06〜15:30
MS01-6　癌の時間治療と今後の展望
九大院薬　大戸　茂弘

3月28日（日）15:30〜17:30　C-J会場　グランヴィア4F　フェニックスウェスト

130年会記念融合型シンポジウムMS02
グリア創薬の最前線と可能性
The Frontline and Possibility of New Drug Development Targeting Glial Functions

オーガナイザー：井上　和秀

15:30〜15:35
オーガナイザー挨拶
九大院薬　井上　和秀

15:35〜15:57
MS02-1　ミクログリアを介した新たな創薬の可能性
―ミクログリアと神経新生・グリア新生との関連
国立医薬品食品衛生研　佐藤　薫

15:57〜16:19
MS02-2　ミクログリアのリソソーム・ミトコンドリア系を標的としたアンチ・エイジング薬開発の可能性
九大院歯　中西　博

16:19〜16:41
MS02-3　グリア細胞を標的にした新しい鎮痛薬の可能性
九大院薬　津田　誠

16:41〜17:03
MS02-4　モノカルボン酸トランスポーターを介したアストロサイトによるシナプス伝達の維持
東京慈恵会医大総合医科学研究セ　加藤　総夫

17:03～17:25
MS02-5　抗うつ薬の有望な標的としてのアストロサイト
山梨大医薬理　小泉　修一

17:25～17:30
総括
九大院薬　井上　和秀

3月29日（月）9:00～12:00　C-B会場　コンベンションセンター　コンベンションホール西

130年会記念融合型シンポジウムMS03
薬の安全、安心を創り育てる
Patient Consent and the Drug Safety of Investigational Products and Approved Drugs
オーガナイザー：平山　佳伸、西村（鈴木）　多美子

9:00～9:05
趣旨説明
就実大薬　五味田　裕

9:05～9:35
MS03-1　薬剤師が育てる薬の安心・安全
岡山大病院薬　西原　茂樹

9:35～10:05
MS03-2　医薬品承認審査から患者の安心へ
就実大薬　西村（鈴木）　多美子

10:05～10:35
MS03-3　医薬品開発メーカーへの要望と期待
医薬品医療機器総合機構　平山　佳伸

10:35～11:05
MS03-4　薬の安全－患者・市民の立場から
日経BP社　北澤　京子

11:05～11:45
MS03-5　医薬品製造販売承認後の安全な適正使用
千葉大院薬　黒川　達夫

11:45～12:00
総合討論

3月29日（月）9:20～17:00　C-E会場　コンベンションセンター　イベントホールB

130年会記念融合型シンポジウムMS04
物理系薬学部会特別シンポジウム：生体分子の機能からイメージングまで
Special Symposium “Biofunction and Molecular Imaging on Biomolecules”
オーガナイザー：佐治　英郎、榎本　秀一

9:20～9:30
はじめに
京大院薬　佐治　英郎

9:30～10:10
MS04-1 (SL02)　生命と元素－金属創薬へのチャレンジ－
鈴鹿医療大薬　桜井　弘

10:10～10:50
MS04-2 (SL03)　新たな磁気共鳴画像化法の開発と酸化ストレス疾患の可視化
九大院薬　内海　英雄

10:50～11:00

休憩

11:00～12:00

MS04-3 (SL04) 亜鉛と免疫・炎症・アレルギー：亜鉛はシグナル伝達因子である
阪大院医・理研RCAI　平野　俊夫

12:00～12:15

休憩

12:15～13:15

MS04-4 (L12) 分子イメージング活用創薬
大阪市大医／理研CMIS　渡辺　恭良

13:15～13:30

休憩

13:30～14:30

MS04-5 (SL05) PET in Drug Development
Karolinska Institutet　Christer HALLDIN

14:30～15:10

MS04-6 (SL06) 生体分子イメージング：医薬品開発に資する新しい手法
京大院薬　佐治　英郎

15:10～15:20

休憩

15:20～16:10

MS04-7 (SL07) MRIを用いる分子・細胞イメージング
滋賀医大医　犬伏　俊郎

16:10～17:00

MS04-8 (SL08) MR Imaging at High Magnetic Fields — From MR Microscopy to Clinical Application: A Challenge to New Biological Information
Univ. Texas Med. Sch.　Masaya TAKAHASHI

3月29日（月）9:00～17:30　C-M会場　全日空ホテル　曲水

130年会記念融合型シンポジウムMS05
トランスポーター：異物解毒と栄養素供給・利用との境界
Transporter: Boundary of the Membrane Transports Xenobiotics and Nutrients
オーガナイザー：楠原　洋之、安西　尚彦

9:00～9:30

MS05-1 有機酸トランスポーター SLC22の新たな役割
杏林大医　安西　尚彦

9:30～10:00

MS05-2 カルニチン／有機カチオントランスポーター OCTNsによる栄養物吸収と異物排出
金沢大院薬　加藤　将夫

10:00～10:30

MS05-3 葉酸吸収におけるPCFT/SLC46A1の役割
名市大薬院　井上　勝央

10:30～11:00

MS05-4 葉酸吸収におけるMRP3/ABCC3の役割
東大院薬　楠原　洋之

11:00～11:10

休憩

11:10～12:00

MS05-5 (SL09) 薬物トランスポータ研究のあゆみ：From Bench to Bedside
京大医病院　乾　賢一

12:00～13:30
MS05-6 (L16) トランスポーター研究：辿ってきた道とこれから歩む道
阪大院医　金井　好克

13:30～14:00
MS05-7 アクアポリン7を介するグリセロール代謝とその破綻
阪大院医　前田　法一

14:00～14:30
MS05-8 脂質代謝とABCトランスポーター
京大院農　松尾　道憲

14:30～15:00
MS05-9 ナトリウム依存性リン酸トランスポーターと心血管疾患
徳島大院ヘルスバイオ　竹谷　豊

15:00～15:30
MS05-10 植物の必須及び有害ミネラルーのトランスポーター
岡山大資源生物科学研　馬　建鋒

15:30～15:40
休憩

15:40～16:30
MS05-11 (SL10) The Sodium/Iodide Symporter (NIS): An Unending Source of Surprises
Albert Einstein College of Medicine　Nancy CARRASCO

16:30～16:40
休憩

16:40～17:30
MS05-12 (SL11) 医薬品の探索・開発における薬物トランスポーター研究の重要性
東大院薬　杉山　雄一

3月29日（月）13:00～17:25　　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール東

130年会記念融合型シンポジウムMS06
脳の働きとその異常　―分子から行動まで―
Brain Function and Disorder — From Molecule To Behavior —

オーガナイザー：桐野　豊、井上　剛

13:00～13:05
オーガナイザー挨拶
徳島文理大香川薬　桐野　　豊

13:05～13:55
MS06-1 (SL12) Strange Things Happen in Small Spaces: How Synaptic Vesicles Fill with Neurotransmitter
UCSF　Robert H. EDWARDS

13:55～14:45
MS06-2 (SL13) 細胞内カルシウムイオンの調節機構及び生理機能の解明
―その病態時の治療薬の開発をめざして―
理研BSI　御子柴　克彦

14:45～15:25
MS06-3 (SL14) 脊髄損傷後の機能回復機構
生理研　伊佐　正

15:25～16:05
MS06-4 (SL15) マウス瞬目反射条件づけに見られる学習メカニズムの多重性
富山大院理工　川原　茂敬

16:05～16:45
MS06-5 (SL16) カルシウムチャネルと神経疾患
生理研　井本　敬二

16:45～17:25
MS06-6 (SL17) 神経回路における複雑な同期発火の発生メカニズム
東大院薬　池谷　裕二

3月29日（月）13:30〜16:30　C-B会場　コンベンションセンター　コンベンションホール西

130年会記念融合型シンポジウムMS07
創薬と臨床評価
Drug Discovery and Clinical Evaluation

オーガナイザー：五味田　裕

13:30〜14:30
MS07-1 (SL18)　Clinical Trial on DHEA in Elderly Women and DHEA or Testosterone in Elderly Men
Mayo Clinic　K. Sreekumaran NAIR

14:30〜15:30
MS07-2 (SL19)　創薬育薬医療におけるサイエンスとアート
国際医福大院／大分大医創薬育薬医学　中野　重行

15:30〜16:30
MS07-3 (SL20)　痛み情報伝達におけるATP受容体の機能と創薬への展望
九大院薬　井上　和秀

3月29日（月）13:30〜17:25　C-C会場　コンベンションセンター　レセプションホール

130年会記念融合型シンポジウムMS08
創薬を進化・深化させる有機化学の力量
The Power of Organic Chemistry to Evolute and Deepen New Drug Development

オーガナイザー：宮地　弘幸、橋本　祐一

13:30〜14:25
MS08-1 (SL21)　シーズ創製のためのマルチテンプレート法とドラマタイプ法
東大分生研　橋本　祐一

14:25〜15:20
MS08-2 (SL22)　ノシル基の開発と天然物合成への応用
東大院薬　福山　透

15:35〜16:30
MS08-3 (SL23)　細胞を操る有機化合物
京大化研　上杉　志成

16:30〜17:25
MS08-4 (SL24)　最先端イメージング研究
東大院薬　長野　哲雄

3月29日（月）14:00〜17:15　C-D会場　コンベンションセンター　イベントホールA

130年会記念融合型シンポジウムMS09
薬物動態・安全性試験におけるサルの有用性：遺伝子からWhole bodyまで
The Usefullness of Monkies in the Evaluation of Pharmacokinetics and Toxicity of Drug Candidates

オーガナイザー：成松　鎮雄、細川　正清、宇野　泰広

14:00〜14:05
シンポジウムの趣旨説明
岡山大院医歯薬　成松　鎮雄

14:05〜14:55
MS09-1 (SL25)　霊長類の染色体進化とその生物学的意義
京大霊長類研　平井　啓久

14:55〜15:00
休憩

15:00～15:20
MS09-2　実験用霊長類の種差・個体差について：ゲノム解析の視点から
医薬基盤研　長田　直樹

15:20～15:40
MS09-3　サル胚性幹細胞の肝細胞への分化と薬物代謝に関与するシトクロムP450のmRNA発現
名市大院薬　松永　民秀

15:40～16:00
MS09-4　カニクイザルにおけるチトクロームP450遺伝子の同定・解析
新日本科学　宇野　泰広

16:00～16:05
休憩

16:05～16:25
MS09-5　サルおよびヒトカルボキシルエステラーゼの構造と機能の比較
千葉科学大薬　細川　正清

16:25～16:45
MS09-6　ヒトおよびカニクイザルのUGT酵素の機能解析
岡山大院医歯薬　埴岡　伸光

16:45～17:05
MS09-7　サルおよびヒトにおける薬物の肝・腎取込みに関与するトランスポーターの機能比較
東大院薬　前田　和哉

17:05～17:15
総括

3月30日（火）9:30～14:30　C-D会場　コンベンションセンター　イベントホールA

130年会記念融合型シンポジウムMS10
分子標的治療の新たなる射程
New Perspective on Molecular-Targeted Therapy

オーガナイザー：森　秀治、西堀　正洋

9:30～9:36
MS10-1　今なぜ「分子標的薬」なのか？　オーバービュー
岡山大院医歯薬　西堀　正洋

9:36～10:12
MS10-2　次世代抗体医薬による癌分子標的治療
協和発酵キリン　佐藤　光男

10:12～10:48
MS10-3　癌治療に於ける抗血管新生の可能性と抗VEGF抗体ベバシズマブ（アバスチン）の開発
中外製薬　仁平　新一

10:48～11:24
MS10-4　TNF阻害薬がもたらした関節リウマチ治療のパラダイムシフト
愛知医大腎臓・リウマチ膠原病内科　山村　昌弘

11:24～12:00
MS10-5　治療分子標的としてのHMGB1と創薬
就実大薬　森　秀治

13:30～14:30
MS10-6 (SL27)　抗体医薬による血管疾患治療と創薬プラットホーム構築
岡山大院医歯薬　西堀　正洋

一般シンポジウム　Symposia

3月28日（日）10:00〜12:00　　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS01
感染症治療を科学する
The Science of Therapy for Infectious Diseases

オーガナイザー：木津　純子、黒田　照夫

10:00〜10:05
オーガナイザー挨拶
慶應大薬　木津　純子

10:05〜10:30
S01-1　感染症治療において薬剤師に期待するもの
東北大院　賀来　満夫

10:30〜10:55
S01-2　TDMに基づく抗菌薬の適正使用
同志社女大薬　森田　邦彦

10:55〜11:20
S01-3　呼吸器感染症における抗菌薬の適正使用
川崎医大　宮下　修行

11:20〜11:45
S01-4　安全性からみた抗菌薬
東京慈恵会医大　堀　誠治

11:45〜12:00
質疑応答及び総括

3月28日（日）13:30〜16:00　　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール

一般シンポジウムS02
薬学教育新制度〜共用試験、第三者評価、薬剤師国家試験〜
New System for Pharmacy Education: The Pharmaceutical Common Achievement Tests, the Third-party Evaluation of Pharmacy Education, and the National Examination for Pharmacist License

オーガナイザー：中村　明弘、入江　徹美

13:30〜13:35
オーガナイザー主旨説明
昭和大　中村　明弘

13:35〜13:45
S02-1　薬学共用試験の実施概要
武庫川女大　市川　厚

13:45〜13:55
S02-2　CBTの実施状況
東京理大　宮崎　智

13:55〜14:05
S02-3　OSCEの実施状況
福山大　吉富　博則

14:05〜14:15
S02-4　第一回薬学共用試験の現状報告と将来展望
静岡県大　奥　直人

14:15～14:25
総合討論1

14:25～14:40
S02-5 第三者評価の実施に向けて
城西大　白幡　晶

14:40～14:55
S02-6 第三者評価実施要綱について
昭和大　中村　明弘

14:55～15:15
S02-7 薬学における第三者評価に期待すること
大学基準協会　橋本　孝志

15:15～15:35
S02-8 新薬剤師国家試験の準備状況
帝京大　井上　圭三

15:35～15:40
S02-9 新薬剤師国家試験に対する期待
厚労省　山本　史

15:40～15:50
総合討論2

15:50～15:55
S02-10 薬学教育新制度に対する期待と課題
文科省　吉田　博之

15:55～16:00
総括
熊本大　入江　徹美

3月28日（日）13:30～15:30　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS03
薬剤師リカレント学習支援プログラム：薬剤師が地域医療をささえるために
Continuous Pharmaceutical Recurrent Education to Support Community Healthcare
オーガナイザー：藤井　聡、野口　博司、土屋　照雄

13:30～13:35
オーガナイザー挨拶
名市大院薬　藤井　聡

13:35～13:53
S03-1 薬剤師：多様化・専門化する活躍の場と期待
厚労省　山本　史

13:53～14:11
S03-2 これからの薬剤師に求められる生涯学習（継続的職能向上）
薬剤師認定制度認証機構　内山　充

14:11～14:29
S03-3 薬科大学附属薬局が主催する臨床薬学に特化した生涯教育
岐阜薬大　杉山　正

14:29～14:47
S03-4 地域医療を支え、薬剤師の意欲を高めるリカレント教育と大学の役割
静岡県大薬　賀川　義之

14:47～15:05
S03-5 地域医療の中で薬剤師に期待すること　―がん診療の立場から―
静岡県総合病院　高木　正和

15:05～15:23
S03-6　三公立大学連携による薬剤師生涯学習支援の試み
東海地区地域連携リカレント教育セ　鈴木　匡

15:23～15:30
総括
静岡県大薬　野口　博司
岐阜薬大　土屋　照雄

3月28日（日）15:30～18:00　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS04
専門薬剤師介入による薬剤業務のアウトカム評価
Estimation of Outcome after Intervention of Pharmacy Specialist in Pharmaceutical Care Services
オーガナイザー：千堂　年昭、伊藤　善規

15:30～15:35
オーガナイザー挨拶
岡山大病院薬　千堂　年昭
岐阜大院薬　伊藤　善規

15:35～15:55
S04-1　NST活動の実践とアウトカム評価　―NST薬剤師の目指すところは―
赤穂市民病院薬　室井　延之

15:55～16:15
S04-2　感染制御チームにおける薬剤師の役割とそのアウトカムの評価
長野赤十字病院薬　堀　勝幸

16:15～16:35
S04-3　精神科における薬学的介入のアウトカム
福岡大筑紫病院薬　神村　英利

16:35～16:40
休憩

16:40～17:00
S04-4　がん化学療法への専門薬剤師の関与による診療効率の向上および安全対策の推進
岐阜大病院薬　飯原　大稔

17:00～17:20
S04-5　がん化学療法の病棟業務における専門薬剤師介入によるアウトカム
九大病院薬　三嶋　一登

17:20～17:40
S04-6　緩和ケアチームのアウトカム評価と今後の課題
岡山大病院薬　松永　尚

17:40～18:00
総括

3月29日（月）9:00〜12:00　C-C会場　コンベンションセンター　レセプションホール

一般シンポジウムS05
DRUG RE-PROFILING研究（エコファーマ）　―既存薬の新しい薬効の発見―
DRUG RE-PROFILING (Eco-Pharma)　—Identification of New Applications of Existing Medicines—
オーガナイザー：水島　徹、井上　和秀

9:00〜9:05
オーガナイザー挨拶
熊本大院医薬　水島　徹

9:05〜9:30
S05-1　DRUG RE-PROFILING研究の現状と課題
熊本大院医薬　水島　徹

9:30〜9:55
S05-2　ATP受容体研究におけるエコファーマの実践
九大院薬　井上　和秀

9:55〜10:20
S05-3　DRUG RE-PROFILINGの実例と経験から得られた問題点
ノーベルファーマ　塩村　仁

10:20〜10:45
S05-4　基礎ならびに臨床知見に基づくパクリタキセル過敏症予防薬としてのペミロラストの有用性
岐阜大病院薬　伊藤　善規

10:45〜11:10
S05-5　NMDA受容体拮抗薬の鎮痛補助薬および依存症治療薬としての有用性（エコファーマ）
星薬大　鈴木　勉

11:10〜11:35
S05-6　GIRKチャネル阻害作用をもつ鎮咳薬の難治性脳疾患モデルにおける多彩な薬理作用
熊本大院医薬　高濱　和夫

11:35〜12:00
S05-7　DRUG RE-PROFILING（既存薬の新しい薬効の発見）を考える
厚労省　井本　昌克

3月29日（月）9:00〜12:00　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS06
健康・医薬品情報を医療現場で活かす
Making the Best Use of Health/Pharmaceutical Information Medical Service
オーガナイザー：遠藤　浩良、宮内　洋一、小河　邦雄

9:00〜9:05
オーガナイザー挨拶
日本薬学図書館協議会　遠藤　浩良

9:05〜9:35
S06-1　健康・医療情報を読み解くために
京大院医　中山　健夫

9:35〜10:05
S06-2　医薬品情報の立場から
東大院薬　澤田　康文

10:05〜10:35
S06-3　薬剤師は病院においていかに患者の安全を確保するか
愛媛大病院薬　荒木　博陽

10:35～11:05
S06-4　国立国語研究所「病院の言葉を分かりやすくする提案」
別府大院文　吉岡　泰夫

11:05～11:35
S06-5　パスファインダーを利用した健康医療情報の提供と健康支援
愛知医大医学情報セ　市川　美智子

11:35～12:00
パネルディスカッション

3月29日（月）14:00～16:00　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS07
プライマリ・ケア薬剤師と薬学
Primary Care Pharmacist and Pharmacy
オーガナイザー：吉山　友二、飯塚　敏美

14:00～14:10
S07-1　プライマリ・ケアと薬学
北里大薬　吉山　友二

14:10～14:40
S07-2　地域医療ネットワークと薬剤師
国際医福大院　武藤　正樹

14:40～15:00
S07-3　プライマリ・ケア薬剤師に期待する
薬剤師認定制度認証機構　内山　充

15:00～15:20
S07-4　薬学のスキルを活用したOTC医薬品の提供
岐阜薬大　堀内　正

15:20～15:40
S07-5　プライマリ・ケアで役立てるコーチング
北海道薬大　野呂瀬　崇彦

15:40～16:00
S07-6　プライマリ・ケアの地域住民啓発事業
北里大薬　飯塚　敏美

3月29日（月）13:00～15:00　C-I会場　コンベンションセンター　407会議室

一般シンポジウムS08
薬学生が社会を変える　―地域社会の活動を通して―
Contribution to the Community through the Social Activities by Pharmacy Students
オーガナイザー：白神　誠、亀井　美和子

13:00～13:05
オーガナイザー挨拶
日本大薬　白神　誠

13:05～13:30
S08-1　キャンパスを出た「小学生に対するくすり教育と環境教育」
―ヒューマニズム精神の具現化に向けて―
東京薬大　宮本　法子

13:30～13:55
S08-2　共に育ちあうボランティア活動のすすめ
社会教育協会ひの社会教育セ　中能　孝則

13:55～14:20
S08-3　社会薬学の活動を通して―大学と地域社会の循環―
慶應大薬　福島　紀子

14:20～14:45
S08-4　介護老人保健施設での薬学生の活動について―受け入れ施設の立場から―
福祉プラザさくら川　関　由美子

14:45～15:00
総合討論

3月29日（月）15:00～17:00　C-I会場　コンベンションセンター　407会議室

一般シンポジウムS09
社会で学んだ薬学出身者の「生きる力」―6年制への提言
Survival Ability of Pharmacy Graduate Learned in the Society — Proposals for 6 yr Education
オーガナイザー：中込　啓一

15:00～15:05
オーガナイザー挨拶
武蔵野大薬　中込　啓一

15:05～15:20
S09-1　多様性から学ぶこと
資生堂　山﨑　まさ子

15:20～15:35
S09-2　幼年期体験と職業
千葉薬品　松島　誠

15:35～15:50
S09-3　就職と新人教育
千葉西総合病院　高橋　智

15:50～16:05
S09-4　一人ぐらしから現在まで学び続けていること
日本調剤　三成　亮

16:05～16:20
S09-5　MBA志向の薬剤師を！
ACRONET　中森　省吾

16:20～16:35
S09-6　与えられたチャンスにどう応えるか？
ファイザー　清村　千鶴

16:35～17:00
討論と総括

3月29日（月）13:00～15:00　C-L会場　グランヴィア4F　フェニックスイースト

一般シンポジウムS10
異分野技術の融合による次世代の医療基盤技術の構築に向けて
Establishment of Novel Therapeutic Technologies by the Fusion of Medical Technologies in Various Fields
オーガナイザー：鈴木　亮、中村　浩之

13:00～13:05
オーガナイザー挨拶
帝京大薬　鈴木　亮

13:05～13:20
S10-1　超音波感受性リポソームを利用した超音波がん治療システムの開発
帝京大薬　鈴木　亮

13:20～13:37
S10-2　微小気泡とパルス超音波を用いるソノポレーションにおける標的気泡の有用性
北大院情報科学　工藤　信樹

13:37～13:54
S10-3　光線力学治療のための光増感剤内包高分子ミセルの開発
東大院医　西山　伸宏

13:54～14:11
S10-4　金ナノロッドと近赤外光を用いた診断・治療システム
九大院工　新留　琢郎

14:11～14:28
S10-5　DCE-MRIを用いたTGF-β阻害剤併用時の微粒子製剤の腫瘍移行性評価
星薬大　川野　久美

14:28～14:45
S10-6　がんのRNA干渉治療を目的とした全身投与型siRNAベクターの開発
静岡県大薬　浅井　知浩

14:45～15:00
S10-7　ホウ素の中性子捕捉反応を利用した低侵襲細胞選択的放射線療法
学習院大理　中村　浩之

3月30日（火）9:00～11:30　　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール東

一般シンポジウムS11
医薬品のライフ・サイクル・マネージメント（LCM）は、真に患者・医療に貢献できるか？
Is the Life Cycle Management of Medicine Is Really Useful for Quality of Life in Patients?
オーガナイザー：内田　享弘、並木　徳之

9:00～9:05
シンポジウム趣旨説明
武庫川女大薬　内田　享弘
静岡県大薬　並木　徳之

9:05～9:25
S11-1　LCM戦略としての付加価値型製剤の開発
アステラス製薬製剤研　渡辺　俊典

9:25～9:45
S11-2　医薬品のライフサイクルマネジメント
第一三共　菊池　正彦

9:45～10:00
S11-3　経口製剤比較に見るLCMとその利点
武庫川女大薬　内田　享弘

10:00～10:20
S11-4　医療現場における医薬品適正使用とLCM
～PK/PD・医薬品情報・品質・医療経済等の問題点～
福井大病院薬　政田　幹夫

10:20～10:40
S11-5　注射剤適正使用から見たLCM：医療現場から
岡山大病院薬　千堂　年昭

10:40～11:00
S11-6　医療で望まれる次世代型のLCM製剤
静岡県大薬　並木　徳之

11:00～11:20
S11-7　LCMと医療経済
慶應大院経営管理　中村　洋

11:20～11:30
全体討論・総括
静岡県大薬　並木　徳之
武庫川女大薬　内田　享弘

3月30日（火）9:00〜11:30　　C-B会場　コンベンションセンター　コンベンションホール西

一般シンポジウムS12
計量薬学―信頼と保証を科学する―
Pharmacometrics — The Gate to Inspire Confidence and Guarantee of Pharmaceuticals
オーガナイザー：山下　富義、高木　達也

9:00〜9:05
オーガナイザー挨拶
京大院薬　山下　富義

9:05〜9:33
S12-1　構造活性相関法に基づくin silico薬物動態予測
京大院薬　山下　富義

9:33〜10:01
S12-2　計量薬学的手法による製剤処方の最適化
星薬大　髙山　幸三

10:01〜10:29
S12-3　ケモメトリックスによる製剤特性の非破壊計測と品質評価
武蔵野大薬　大塚　誠

10:29〜10:57
S12-4　PK/PD理論に基づいた抗菌剤のリアルタイム投与設計
広島大院医歯薬　森川　則文

10:57〜11:25
S12-5　多変量解析法を用いた疾患・副作用の診断、予後予測支援
阪大院薬　高木　達也

11:25〜11:30
総括
阪大院薬　高木　達也

3月30日（火）9:00〜11:50　　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS13
重篤副作用を回避するためのファーマコゲノミクス研究
Pharmacogenomics Study to Avoid Serious Drug Adverse Reactions
オーガナイザー：岩崎　甫、長谷川　隆一

9:00〜9:05
オーガナイザー挨拶
国立衛研　長谷川　隆一

9:05〜9:30
S13-1　抗がん剤の副作用回避のためのPGx研究
国立衛研　斎藤　嘉朗

9:30〜9:55
S13-2　イリノテカンに関するPGx研究の動向と臨床
第一三共学術調査部　平田　浩司

9:55〜10:20
S13-3　スタチンによる横紋筋融解症と遺伝子マーカー
千葉大院薬　千葉　寛

10:20〜10:25
休息

10:25～10:50
S13-4　重症薬疹の発症と関連するバイオマーカーの探索研究
国立衛研　鹿庭　なほ子

10:50～11:15
S13-5　臨床ゲノム研究の現状とPGxのガイドラインの整備
理研　鎌谷　直之

11:15～11:40
S13-6　医薬品安全対策におけるPGx・バイオマーカーの役割と規制当局の立場
医薬品医療機器総合機構　石黒　昭博

11:40～11:50
追加紹介及び総括
国立衛研　長谷川　隆一

3月30日（火）9:00～12:00　C-H会場　コンベンションセンター　405会議室

一般シンポジウムS14
医薬品安全性確保に向けての市販後大規模副作用症例データの活用
―向精神薬の適正使用と安全性情報―
Utilization of Large-scale Postmarketing Adverse Event Data for Pharmacovigilance
― Ratioanl Use and Safety Information of Psychotropic Drugs ―
オーガナイザー：森川　馨、長嶺　敬彦

9:00～9:10
はじめに
国立衛研安全情報部　森川　馨

9:10～9:45
S14-1　有効性と安全性を踏まえた精神科薬物療法：エビデンスと臨床をつなぐ鍵は何か
京大院医　岡田　俊

9:45～10:15
S14-2　大規模副作用症例データベースAERSを用いた向精神薬の安全性情報の解析
国立衛研安全情報部　森川　馨

10:15～10:40
S14-3　海外規制機関からの向精神薬に関する安全性情報
国立衛研安全情報部　天沼　喜美子

10:40～11:05
S14-4　Evaluating Drug Safety in Patients with Alzheimer's Diseas
エーザイ　Stewart GEARY

11:05～11:30
S14-5　薬学と臨床薬学の立場からの向精神薬の安全性について
東邦大薬　吉尾　隆

11:30～12:00
S14-6　抗精神病薬を安全に使用する工夫
―AERSで検出された抗精神病薬の副作用シグナルからの考察―
吉南病院内科　長嶺　敬彦

3月30日（火）9:00〜12:00　C-J会場　グランヴィア4F　フェニックスウェスト

一般シンポジウムS15
糖尿病治療に挑む新しい薬剤開発
―「教育・臨床現場の声」と「天然物・有機・無機化合物」からのアプローチ―
Challenging the Development of New Anti-diabetic Medicines by Using Approaches from Educational, Clinical, and Research Fields

オーガナイザー：吉川　豊、安達　祐介

9:00〜9:10
オーガナイザー挨拶・趣旨説明
京都薬大　吉川　豊
味の素　安達　祐介

9:10〜9:40
S15-1　学んで繋げる糖尿病の基礎知識 ―教育現場からのアプローチ―
医学アカデミー・薬学ゼミナール　村上　理

9:40〜10:10
S15-2　糖尿病およびその治療法の現況―病院薬剤師の視点より―
倉敷成人病セ薬　原田　七穂

10:10〜10:20
休憩

10:20〜10:50
S15-3　薬用食品から抗糖尿病作用成分の開拓に挑む
京都薬大　中村　誠宏

10:50〜11:20
S15-4　レチノイドX受容体を標的に単剤1型2型糖尿病治療薬候補化合物創製に挑む
岡山大院医歯薬　加来田　博貴

11:20〜11:50
S15-5　糖尿病克服を目指した新規亜鉛錯体の開発研究に挑む
京都薬大　吉川　豊

11:50〜12:00
総括

3月30日（火）9:00〜12:00　C-K会場　グランヴィア4F　フェニックスサウス

一般シンポジウムS16
6年制薬剤師が求める・求められる薬業界の現状と展望
Current State and View of Pharmaceutical and Medicine Industry that 6 Year-educated Pharmacists Request and Are Requested

オーガナイザー：荒牧　弘範、鹿志毛　信広

9:00〜9:10
オーガナイザー挨拶
第一薬大　荒牧　弘範

9:10〜9:40
S16-1　6年制薬剤師への期待―薬学部と薬剤部で教育を担当する立場から―
福岡大薬／福岡大筑紫病院薬　神村　英利

9:40〜10:10
S16-2　「6年制薬学部生の就職」と「キャリアデザイン」
武蔵野大薬　中込　啓一

10:10～10:40
S16-3　社会が求める6年制薬剤師とその展望
日本薬剤師会　児玉　孝

10:40～10:50
休憩

10:50～11:20
S16-4　セルフメディケーション時代を担う薬剤師とその育成
日本チェーンドラッグストア協会　小田　兵馬

11:20～11:50
S16-5　製薬企業における人材育成
ノバルティス ファーマ　石川　裕子

11:50～12:00
総括
福岡大薬　鹿志毛　信広

3月30日（火）9:00～11:50　C-L会場　グランヴィア4F　フェニックスイースト

一般シンポジウムS17
“共に学び、共に育つ”実務実習の実現に向けて
Learning Together, Teaching Together: Making Experiential Pharmacy Practice a Success
オーガナイザー：望月　正隆、須田　晃治、山元　弘、吉富　博則

9:00～9:05
オーガナイザー主旨説明
薬学教育協議会　須田　晃治

9:05～9:15
S17-1　六年制薬学教育における実務実習への期待と課題
文科省　吉田　博之

9:15～9:35
S17-2　実務実習の実現に向けての現状と展望
薬学教育協議会　望月　正隆

9:35～9:55
S17-3　実務実習事前学習の計画から実施へ
昭和大薬　山元　俊憲

9:55～10:05
総合討論－1

10:05～10:25
S17-4　大学と実習施設との連携体制
慶應大薬　木津　純子

10:25～10:40
S17-5　「薬学教育実務実習指導の参考指針」概要
昭和大薬　中村　明弘

10:40～10:55
S17-6　薬局実習の準備状況
日本薬剤師会　森　昌平

10:55～11:10
S17-7　病院実習の準備状況
日本病院薬剤師会　幸田　幸直

11:10～11:30
総合討論－2

11:30～11:40
S17-8　新たな薬剤師誕生への期待
厚労省　山本　史

11:40～11:50
総括
薬学教育協議会　須田　晃治

3月30日（火）13:30～16:30　C-A会場　コンベンションセンター　コンベンションホール東

一般シンポジウムS18
ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線
Recent Topics of NanoTox Studies for Their Safety
オーガナイザー：堤　康央、吉岡　靖雄

13:30～13:35
S18-1　ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線（Overview）
阪大院薬　堤　康央

13:35～14:15
S18-2　ナノマテリアルの慢性影響
国立衛研　広瀬　明彦

14:15～14:35
S18-3　ナノマテリアルの経皮吸収性・体内動態と急性毒性・肝毒性
医薬基盤研　角田　慎一

14:35～14:55
S18-4　ナノマテリアルの相互作用解析と急性毒性・肝毒性機構の追求
阪大院薬　吉川　友章

14:55～15:10
S18-5　ナノマテリアルの細胞内動態と遺伝毒性
医薬基盤研　阿部　康弘

15:10～15:30
S18-6　ナノマテリアルの動態特性と免疫毒性
阪大MEIセ　吉岡　靖雄

15:30～15:45
S18-7　ナノマテリアルの動態特性と生殖発生毒性
医薬基盤研　長野　一也

15:45～16:25
S18-8　ナノマテリアルの次世代健康影響―妊娠期曝露は子に重大な影響を及ぼす
東京理大薬　武田　健

16:25～16:30
ナノマテリアルの安全確保に向けたNanoTox研究の最前線（総括）
阪大MEIセ　吉岡　靖雄

3月30日（火）13:30～16:30　C-B会場　コンベンションセンター　コンベンションホール西

一般シンポジウムS19
生理活性タンパク質による治療最適化を指向した遺伝子・細胞製剤の開発
Development of Cellular and Gene Therapy Products for Bioacitve Protein-based Therapy
オーガナイザー：櫻井　文教、西川　元也

13:30～13:35
シンポジウム趣旨説明
京大院薬　西川　元也

13:35～14:05
S19-1　バブルリポソームと超音波技術を融合した筋組織への遺伝子導入システムの開発
東京薬大薬　根岸　洋一

14:05～14:35
S19-2　マイクロRNAによる遺伝子発現制御システムを搭載した組換えアデノウイルスの開発
医薬基盤研　櫻井　文教

14:35～15:00
S19-3　発現タンパク質の時空間制御による遺伝子治療効果の最適化
京大院薬　西川　元也

15:00～15:30
S19-4　ベクター産生型骨髄間質細胞を利用した遺伝子治療
国立精神・神経セ　岡田　尚巳

15:30～16:00
S19-5　がん細胞免疫療法の治療成績成績向上のための要素技術開発：
樹状細胞体外大量増幅技術開発とセンダイウイルスによる免疫刺激療法
九大院薬　米満　吉和

16:00～16:30
S19-6　iPS細胞への遺伝子導入を用いた分化誘導の最適化
医薬基盤研　川端　健二

3月30日（火）13:30～15:30　　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS20
ファーマコゲノミクスに安心と安全を　～薬剤師がファーマコゲノミクスの担い手となり得るか～
Relief and Safety to Pharmacogenomics.　～ Can a Pharmacist Take the Responsibility for Management of Pharmacogenomics? ～
オーガナイザー：名倉　弘哲、川村　和美

13:30～13:35
オーガナイザー挨拶
岡山大薬　名倉　弘哲

13:35～13:55
S20-1　日本人乳癌患者におけるタモキシフェンの再発予防効果に及ぼす
CYP2D6及びABCC2遺伝子多型の影響
理研ゲノム医科学研究セ　筵田　泰誠

13:55～14:15
S20-2　薬物治療において遺伝情報を適切に利用するための課題
－今、臨床の現場で起こりつつあること－
日本医大病院ゲノム先端医療　渡邉　淳

14:15～14:35
S20-3　消費者直販型薬理遺伝学的検査の倫理的法的社会的課題
東大医科研　武藤　香織

14:35～14:55
S20-4　「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」と個人遺伝情報の保護
エスアールエル　堤　正好

14:55～15:15
S20-5　ファーマコゲノミクスにおける薬剤師の役割と倫理教育の必要性
スギメディカル　川村　和美

15:15～15:30
パネルディスカッション、総括

3月30日（火）15:30〜17:30　　C-F会場　コンベンションセンター　301会議室

一般シンポジウムS21
リソソーム病に対する「ウルトラ・オーファンドラッグ」開発研究の展開
Recent Development of “Ultra-Orphan Drug” Research for Lysosomal Storage Diseases
オーガナイザー：伊藤　孝司、櫻庭　均

15:30〜15:35
オーガナイザー挨拶
徳島大院薬医薬創製教育研セ　伊藤　孝司

15:35〜15:55
S21-1　分子設計による新規ファブリー病酵素補充療法の開発
明治薬大　櫻庭　均

15:55〜16:15
S21-2　糖鎖改変技術を活用したマンノースー 6-リン酸型リソソーム酵素の生産
産総研糖鎖医セ　千葉　靖典

16:15〜16:35
S21-3　ムコ多糖症の酵素補充療法
国立成育医療セ　奥山　虎之

16:35〜16:40
休憩

16:40〜17:00
S21-4　ファブリー病の新規マーカーとしての血漿中lyso-Gb3の測定
明治薬大　兎川　忠靖

17:00〜17:20
S21-5　神経症状を伴うリソソーム病モデルに対する改変型組換えヒト酵素の脳室内補充効果
徳島大院薬医薬創製教育研セ　伊藤　孝司

17:20〜17:30
総括
明治薬大　櫻庭　均

3月30日（火）13:30〜16:30　　C-J会場　グランヴィア4F　フェニックスウェスト

一般シンポジウムS22
アルツハイマー病の発症機構と治療薬・診断法の開発戦略
Pathogenic Mechanism, Diagnosis and Therapy of Alzheimer’s Disease:
Current Understanding and Perspective
オーガナイザー：岩田　修永、鈴木　利治

13:30〜13:35
オーガナイザー挨拶
理研　岩田　修永

13:35〜14:08
S22-1　脳内APP代謝におけるX11-like/X11Lの機能
北大院薬　齋藤　有紀

14:08〜14:41
S22-2　β・γセクレターゼ活性制御によるアルツハイマー病治療
東大院薬　富田　泰輔

14:41〜15:14
S22-3　Aβ代謝メカニズムの解析と新規治療標的の同定
理研　岩田　修永

15:14～15:47
S22-4　脳関門を介したAβ排出の分子機構
東北大院薬　大槻　純男

15:47～16:20
S22-5　認知症のバイオマーカー：髄液特異的な糖タンパク質
福島医大医　城谷　圭朗

16:20～16:30
総合討論

3月30日（火）13:30～15:05　C-K会場　グランヴィア4F　フェニックスサウス

一般シンポジウムS23
6年制におけるコミュニケーション教育の現状と展望
The Present and Future of Communication Studies in the Six-year System
オーガナイザー：井手口　直子、後藤　惠子

13:30～13:35
オーガナイザー挨拶
日本大薬　井手口　直子

13:35～13:50
S23-1　コミュニケーション教育の現状、全国大学調査報告と考察
日本大薬　井手口　直子

13:50～14:05
S23-2　コミュニケーション教育の位置づけと連携
北里大薬学教育研究セ　有田　悦子

14:05～14:20
S23-3　効果的なコミュニケーション教育のための方略と関わりについて
ワークショップの報告から
東京理大薬　後藤　惠子

14:20～14:35
S23-4　コミュニケーション教育の評価について，医療系大学の事例から
東京医歯大教養　中村　千賀子

14:35～14:50
S23-5　6年制薬学教育におけるコミュニケーション教育に必要な質的アプローチと教育学的知見
名大院教育発達科学　大谷　尚

14:50～15:05
総合討論：今後のコミュニケーション教育

3月30日（火）13:30～15:30　C-C会場　コンベンションセンター　レセプションホール

一般シンポジウムS24
薬学新時代の大学院教育
Education of Graduate School of Pharmaceutical Sciences in New Generation
オーガナイザー：平澤　典保、奥　直人

13:30～13:50
S24-1　6年制の大学院教育：東北大学の試み
東北大院薬　富岡　佳久

13:50～14:10
S24-2　グローバル化時代の大学院教育
東大院薬　入村　達郎

14:10～14:30
S24-3　公立単科大学における連携・連合による大学院教育充実への取り組み
岐阜薬大　永井　博弐

14:30～14:50
S24-4　創薬研究から薬系大学院教育に望むもの
横浜薬大　大森　健守

14:50～15:10
S24-5　新たな薬学教育制度における大学院について
文科省　吉田　博之

15:10～15:30
S24-6　日本薬学会の将来と大学院教育
静岡県大薬　奥　直人

3月30日（火）15:30～17:30　C-C会場　コンベンションセンター　レセプションホール

一般シンポジウムS25
新しい薬学教育へ―若手教員の取り組みと現状
On the Way to New Pharmacy Education — Action of Young Educators and Reactions from Students
オーガナイザー：安原　智久、大井　浩明、加藤　美紀、諸根　美恵子、曾根　知道

15:30～15:35
オーガナイザー挨拶
近畿大薬　安原　智久

15:35～15:55
S25-1　東北薬科大学における基礎学力向上のための取り組み
東北薬大　諸根　美恵子

15:55～16:00
質疑等（座長による司会）
摂南大薬　曾根　知道

16:00～16:20
S25-2　学生の学習への目的意識を高める試み
昭和大薬　大井　浩明

16:20～16:25
質疑等（座長による司会）
摂南大薬　曾根　知道

16:25～16:45
S25-3　分野横断的統合型薬学教育の試み
近畿大薬　安原　智久

16:45～16:50
質疑等（座長による司会）
摂南大薬　曾根　知道

16:50～17:10
S25-4　名城大学薬学部での症例に基づく統合型PBL教育と実践
名城大薬　加藤　美紀

17:10～17:15
質疑等（座長による司会）
摂南大薬　曾根　知道

17:15～17:30
総合討論（座長による司会）
摂南大薬　曾根　知道

3月28日（日）9:00〜11:00　　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS26
薬学新体制からの創薬教育はどのようにしたら良いか
What Medicinal Chemistry should be in the New System of Pharmaceutical Education?
オーガナイザー：杉本　八郎、高山　廣光

9:00 〜 9:05
オーガナイザー挨拶
京大院薬　杉本　八郎

9:05 〜 9:25
S26-1　製薬企業から私立薬科大学に移動して創薬化学に思うこと
兵庫医療大薬　田中　明人

9:25 〜 9:45
S26-2　今日のアカデミアにおける創薬化学に思うこと
岡山大院医歯薬　宮地　弘幸

9:45 〜 10:05
S26-3　創薬化学：大学で何を教育し何を研究するか
名市大院薬　宮田　直樹

10:05 〜 10:25
S26-4　生物と有機化学のインターフェースとしての創薬化学
新潟薬大　石黒　正路

10:25 〜 10:45
S26-5　明日の創薬の柱となる有機化学を目指す
京大院薬　杉本　八郎

10:45 〜 11:00
総合討論とまとめ
千葉大院薬　高山　廣光

3月28日（日）9:00〜12:00　　T-B会場　津島　A21

一般シンポジウムS27
次世代高性能触媒の創製を目指す
Towards the Creation of the Next-Generation, High Performance Catalysts
オーガナイザー：阿部　郁朗、赤井　周司

9:00 〜 9:02
オーガナイザー挨拶
静岡県大薬　赤井　周司

9:02 〜 9:25
S27-1　酵素－金属複合触媒反応系の創製：多段階ワンポット合成
静岡県大薬　赤井　周司

9:25 〜 9:48
S27-2　酵素機能の制御と超天然型新規生体触媒の創製
東大院薬　阿部　郁朗

9:48 〜 10:11
S27-3　抗体酵素の新展開：ホロ酵素型抗体の分子設計
阪府大院理　藤井　郁雄

10:11 〜 10:34
S27-4　人工酵素を創る戦略：エナミン機構に基づく反応を加速する触媒の開発
京大化研　田中　富士枝

10:34 〜 10:40
休憩

10:40～11:03
S27-5　新規な水素結合供与性有機触媒の創製
京大院薬　竹本　佳司

11:03～11:26
S27-6　動的分子認識に基づくポリオール類の位置選択的官能基化
京大化研　川端　猛夫

11:26～11:56
S27-7　医薬候補化合物の実用的触媒的不斉合成
東大院薬　柴崎　正勝

11:56～12:00
閉会の挨拶
東大院薬　阿部　郁朗

3月28日（日）13:30～15:30　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS28
小動物用PET/SPECT/CT装置を用いた分子イメージング：医薬品開発の促進に向けて
Molecular Imaging with PET/SPECT/CT Devices for Small Animals to Promote Drug Development
オーガナイザー：佐治　英郎、荒野　泰

13:30～13:35
オーガナイザー挨拶
千葉大院薬　荒野　泰

13:35～14:00
S28-1　医薬品開発への分子イメージングの利用
横浜市大院医　井上　登美夫

14:00～14:25
S28-2　小動物イメージングに必要な要素技術
浜松医大光量子セ　間賀田　泰寛

14:25～14:30
休憩

14:30～14:55
S28-3　SPECT分子イメージングの医薬品開発への応用
大阪薬大　大桃　善朗

14:55～15:20
S28-4　動物用PETの医薬品開発への応用
浜松フォトニクス・中研　塚田　秀夫

15:20～15:30
総括
京大院薬　佐治　英郎

3月28日（日）15:30～17:30　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS29
有機化学を駆使した新しい分子イメージング
Novel Molecular Imaging by Making Full Use of Organic Chemistry
オーガナイザー：浦野　泰照、小川　美香子

15:30～15:50
S29-1　本シンポジウム企画意図説明およびマルチモーダル分子イメージングプローブ
浜松医大　小川　美香子

15:50～16:15
S29-2　抗体を用いたSPECTプローブの標識化学
千葉大院薬　上原　知也

16:15～16:40
S29-3　神経病理像の可視化を目指したPETプローブ開発
東北大院医　古本　祥三

16:40～17:05
S29-4　生体内代謝反応を解析するシグナルOFF-ON型NMRプローブの開発
九大フロンティア　山東　信介

17:05～17:30
S29-5　蛍光プローブの開発に基づくin vivoがんイメージングおよびシンポジウムまとめ
東大院薬　浦野　泰照

3月28日（日）14:30～16:30　T-B会場　津島　A21

一般シンポジウムS30
ニューロメタル研究の最前線　～脳高次機能および脳疾患における金属の役割～
The Front of Neurometal Research　～Role of Metals in Brain Functions and Brain Diseases～
オーガナイザー：武田　厚司、古武　弥一郎

14:30～14:35
Overview
静岡県大薬　武田　厚司

14:35～15:03
S30-1　不安・恐怖ストレスと亜鉛シグナリング
静岡県大薬　武田　厚司

15:03～15:31
S30-2　ミクログリアにおける脳内亜鉛の役割
高知大医　東　洋一郎

15:31～15:59
S30-3　微量金属の神経毒性と神経変性疾患
九州保福大薬　川原　正博

15:59～16:27
S30-4　生体から検出される濃度の有機スズによる神経細胞脆弱化
広島大院医歯薬　古武　弥一郎

16:27～16:30
総括
広島大院医歯薬　古武　弥一郎

3月28日（日）15:30～17:30　T-E会場　津島　A41

一般シンポジウムS31
薬学における有機化学の原点回帰とこれから
The Origin and Future of Organic Chemistry in Pharmaceutical Sciences
オーガナイザー：加来田　博貴、鈴木　孝禎、脇本　敏幸

15:30～15:36
オーガナイザー挨拶
岡山大院医歯薬　加来田　博貴

15:36～15:54
S31-1　(-)-オセルタミビルの3ポット合成
東京理大工　石川　勇人

15:54～16:12
S31-2　新規抗糖尿病薬の創製を目指した(–)-Cercosporamide誘導体の合成研究
第一三共　古川　詔大

16:12～16:30
S31-3　転写を制御する小分子有機化合物
京大化研　下川　浩輝

16:30～16:48
S31-4　プロスタグランジンE2受容体サブタイプEP1選択的拮抗剤の開発
小野薬品工業　長縄　厚志

16:48～17:06
S31-5　天然物様化合物を軸とした癌細胞へのアプローチ
千葉大院薬　荒井　緑

17:06～17:24
S31-6　薬剤耐性株に有効な抗HIV活性ペプチドの創製と発現生産プロセスの開発
京大院薬　大石　真也

17:24～17:30
総括
静岡県大薬　脇本　敏幸

3月28日（日）13:30～15:30　T-L会場　津島　B41

一般シンポジウムS32
今一度、食の安全を考える
Why don't You Reconfirm about "Food Safety"
オーガナイザー：山崎　裕康、堀　伸二郎

13:30～13:35
オーガナイザー挨拶
神戸学院大薬　山崎　裕康

13:35～14:00
S32-1　輸入食品等の監視指導の実施についての基本的考え方について
神戸検疫所輸入食品・検疫検査セ　武田　寿

14:00～14:30
S32-2　登録検査機関から見た食の安全
東京顕微鏡院　塩見　幸博

14:30～14:35
休憩

14:35～15:00
S32-3　食の安全におけるLC-MS/MS分析の問題点
アサヒビール　望月　直樹

15:00～15:25
S32-4　食品添加物の安全性
三栄源エフ・エフ・アイ　伊藤　澄夫

15:25～15:30
質疑応答、総括
三栄源エフ・エフ・アイ　堀　伸二郎

3月28日（日）15:30〜17:30　　T-L会場　津島　B41

一般シンポジウムS33
若手が切り開くMolecular Toxicology 5　〜化学物質に対する感受性を決定する生体システム〜
Molecular Toxicology Leaded by Young Scientists 5　〜Biological Systems to Determine the Sensitivity to Chemicals〜

オーガナイザー：藤原　泰之、木村　朋紀

15:30〜15:33
オーガナイザー挨拶
愛知学院大薬　藤原　泰之

15:33〜16:01
S33-1　制がん剤感受性を規定する遺伝子の同定およびその作用機構の解析
東北大院薬　高橋　勉

16:01〜16:29
S33-2　異物応答に関与する核内受容体CARの局在調節機構
東邦大薬　菅野　裕一朗

16:29〜16:57
S33-3　血管内皮細胞における鉛に対する小胞体ストレス応答機構の解析
北陸大フロンティア　新開　泰弘

16:57〜17:25
S33-4　ディーゼル排気微粒子による免疫システムかく乱とその分子基盤
国立環境研　井上　健一郎

17:25〜17:30
総括
摂南大薬　木村　朋紀

3月29日（月）9:00〜12:00　　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS34
天然物パワー2：ものとりの醍醐味
Power of Natural Products 2

オーガナイザー：塚本　佐知子、石橋　正己

9:00〜9:30
S34-1　インドールアルカロイドNotoamideの構造と生合成経路に関する研究
熊本大院薬　塚本　佐知子

9:30〜10:00
S34-2　海洋天然物研究経験の多彩さ
東大院農　松永　茂樹

10:00〜10:30
S34-3　リコポジウム属植物トウゲシバ含有アルカロイドの探索と化学
千葉大院薬　高山　廣光

10:30〜11:00
S34-4　タンニンおよび関連ポリフェノールとその作用の基礎にあるもの
岡山大院医歯薬　波多野　力

11:00〜11:30
S34-5　Cell-based assayを基盤とする天然薬物由来の医薬シーズの探索
阪大院薬　小林　資正

11:30〜12:00
S34-6　海からの「モノ取り」は面白い
東工大院理工　楠見　武徳

3月29日（月）9:00〜11:50　　T-B会場　津島　A21

一般シンポジウムS35
プロセス化学の現場
The Industrial Aspects of Process Chemistry

オーガナイザー：横山　祐作、生中　雅也

9:00 〜 9:05
オーガナイザー挨拶
東邦大薬　横山　祐作

9:05 〜 9:40
S35-1　位置選択的エナミン交換反応を利用するヘテロ環化合物の実用的合成法
アステラス製薬合成技術研　大東　篤

9:40 〜 10:15
S35-2　リウマチ治療薬を目指したMX-68のプロセス開発
中外製薬　丸山　典昭

10:15 〜 10:25
休憩

10:25 〜 11:00
S35-3　遷移金属触媒クロスカップリング反応を用いた二環性DPP-4阻害薬の効率的合成法の開発
武田薬品工業　瀬良　美佐代

11:00 〜 11:35
S35-4　微生物酵素を利用した有用糖質の生産
林原生化研　岡本　岩夫

11:35 〜 11:50
総合討論
東邦大薬　横山　祐作

3月29日（月）9:00〜12:00　　T-E会場　津島　A41

一般シンポジウムS36
薬学における生命指向型化学（分子設計を基盤とした生命現象解明）
Chemical Biology for Pharmaceutical Sciences (Molecular Design toward Exploration of Biological Functions)

オーガナイザー：今西　未来、重永　章

9:00 〜 9:05
オーガナイザー挨拶
徳島大院薬　重永　章

9:05 〜 9:35
S36-1　脂質界面での脱水縮合反応を用いた膜融合現象と巨大ベシクルの形成
金沢大院薬　田中　弘之

9:35 〜 10:00
S36-2　刺激応答型ペプチド結合切断反応を基盤としたペプチド機能制御
徳島大院薬　重永　章

10:00 〜 10:30
S36-3　共通表面構造を認識するdualプレニル転移酵素阻害剤の設計と機能
阪大産研　大神田　淳子

10:30 〜 10:55
S36-4　生命現象の制御を目指した人工転写因子の創製
京大化研　今西　未来

10:55～11:25
S36-5　細胞内のシグナル伝達を可視化する分子プローブ
東大院総合文化　佐藤　守俊

11:25～11:55
S36-6　セミインタクト細胞を用いたオルガネラダイナミクスの分子機構解明
東大院総合文化　加納　ふみ

11:50～12:00
総括
京大化研　今西　未来

3月29日（月）9:00～12:00　T-L会場　津島　B41

一般シンポジウムS37
健康、安全、安心のための分析科学
Analytical Sciences for Health, Safty and Security

オーガナイザー：萩中　淳、片岡　洋行

9:00～9:05
オーガナイザー挨拶
武庫川女大薬　萩中　淳

9:05～9:30
S37-1　乱用薬物の健康リスクを予防する分析科学
長崎大院医歯薬　中島　憲一郎

9:30～9:55
S37-2　最新のメタボローム測定技術と診断応用
慶応大先端生命研　曽我　朋義

9:55～10:20
S37-3　新しいキャピラリーマイクロ抽出技術の開発と応用
就実大薬　片岡　洋行

10:20～10:30
休憩

10:30～10:55
S37-4　環境水中の医薬品の分析法の開発と応用
武庫川女大薬　萩中　淳

10:55～11:20
S37-5　食品表示の信頼性確保のための分析技術
農研機構食総研　安井　明美

11:20～11:45
S37-6　科学捜査、テロ対処に資する分析化学
科警研　瀬戸　康雄

11:45～12:00
総括

3月29日（月）13:30〜16:30　　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS38
有機化学を基盤とする実践的創薬
Practical Drug Development Based on Organic Chemistry

オーガナイザー：西　剛秀、林　良雄

13:30〜13:35
オーガナイザー挨拶
第一三共化学第一研　西　剛秀

13:35〜14:00
S38-1　2型糖尿病治療を指向したSGLT2阻害薬canagliflozinの創製
田辺三菱製薬創薬化学研　野村　純宏

14:00〜14:25
S38-2　新規アルギニンバソプレシン受容体拮抗薬コニバプタン塩酸塩の創製
アステラス製薬　古塩　裕之

14:25〜14:50
S38-3　水溶性の優れた非ペプチド性インテグリン$\alpha_v\beta_3$/ $\alpha_{IIb}\beta_3$デュアル拮抗薬の創製
東大分生研　石川　稔

14:50〜15:00
休憩

15:00〜15:25
S38-4　Monoketo Acid型HIV-1 Integrase阻害剤Elvitegravirの創薬研究
JT医薬総研　化研　新海　久

15:25〜15:50
S38-5　ナルフラフィンの研究開発
北里大薬　長瀬　博

15:50〜16:15
S38-6　新規痛風及び高尿酸血症治療薬の創製
帝人　近藤　史郎

16:15〜16:30
総括
東京薬大薬　林　良雄

3月29日（月）13:30〜15:30　　T-E会場　津島　A41

一般シンポジウムS39
有機触媒研究の新展開
Organocatalyst: Now and Future

オーガナイザー：長澤　和夫、岩渕　好治

13:30〜13:35
オーガナイザー挨拶
東北大院薬　岩渕　好治

13:35〜14:00
S39-1　アルドラーゼ型有機分子触媒による立体選択的炭素－炭素結合の構築
静岡大工　間瀬　暢之

14:00〜14:25
S39-2　環境応答性不斉触媒反応の開発
農工大院工　長澤　和夫

14:25〜14:50
S39-3　アミノホスホニウム塩の分子設計に基づく酸・塩基触媒機能の創出と応用
名大院工　大井　貴史

14:50～15:15
S39-4　キラルブレンステッド酸触媒を用いた不斉合成反応の新展開
学習院大理　秋山　隆彦

15:15～15:30
総合討論と総括
農工大院工　長澤　和夫

3月29日（月）14:30～17:30　T-L会場　津島　B41

一般シンポジウムS40
水環境中の医薬品を考える　－生態系への影響は？－
Pharmaceuticals in Water Environment and Its Effects on Aquatic Ecosystem
オーガナイザー：鈴木　俊也、佐藤　雅彦

14:30～14:35
オーガナイザー挨拶
都健安研セ　鈴木　俊也

14:35～15:05
S40-1　薬局における不用医薬品の回収の取り組み
横浜市薬剤師会　高橋　洋一

15:05～15:35
S40-2　下水処理場における医薬品の存在実態
土木研　南山　端彦

15:35～16:05
S40-3　水道水源および水道水中における医薬品の存在実態
国立保健医療科学院　島崎　大

16:05～16:15
休憩

16:15～16:45
S40-4　医薬品の生態影響
国立環境研　鑪迫　典久

16:45～17:15
S40-5　医薬品の環境影響評価について
国立衛研　西村　哲治

17:15～17:30
総括

3月30日（火）9:00～12:00　T-A会場　津島　50周年記念館

一般シンポジウムS41
トキシコメタロミクスの新機軸－元素分析・イメージングと疾患・創薬のインキュベーション－
New approaches in Toxicometallomics — Incubation of Analytical and Imaging Techniques with Metal-related Diseases and Therapies
オーガナイザー：姫野　誠一郎、小椋　康光、榎本　秀一

9:00～9:05
オーガナイザー挨拶
徳島文理大薬　姫野　誠一郎

9:05～9:30
S41-1　元素代謝の新しいマーカーとしての同位体組成情報
京大院理　平田　岳史

9:30～10:00
S41-2　複数分子同時イメージング法による非侵襲的バイオメタルイメージングとその応用
理研神戸研　廣村　信

10:00～10:30
S41-3　高分解X線ナノプローブ顕微鏡を用いた細胞内元素分布イメージング
国立国際医療セ　志村　まり

10:30～11:00
S41-4　遺伝性結合組織疾患の病態形成に関与する亜鉛トランスポーター Slc39a13/Zip13
理研免疫セ　深田　俊幸

11:00～11:30
S41-5　セレン蛋白質GPx4の組織特異的・オルガネラ選択的欠損マウスの機能解析
北里大薬　今井　浩孝

11:30～12:00
S41-6　第一遷移系列金属の生命錯体化学を基盤としたファーマコメタロミクス研究
京都薬大　安井　裕之

3月30日（火）9:00～12:00　　T-B会場　津島　A21

一般シンポジウムS42
生体分子・細胞を「見る」「測る」「解る」ための新規分析法
New Analytical Method for Observing, Measuring, and Understanding Biological Molecules and Cells
オーガナイザー：大野　賢一、津山　尚宏

9:00～9:05
オーガナイザー挨拶
広島大院医歯薬　津山　尚宏

9:05～9:40
S42-1　オンチップ生体分子ソーターの開発
理研RCAI　白崎　善隆

9:40～10:15
S42-2　血中タンパク質の可逆的変化を捉える分析技術と健康指標・医療分野への展開
味の素ライフサイエンス研　窪田　和幸

10:15～10:50
S42-3　生きた単一細胞内の内在性mRNAのイメージングと定量
東大院薬　岡部　弘基

10:50～11:25
S42-4　脂質電気分析化学の創生と代謝医学への展開
東京薬大薬　袴田　秀樹

11:25～11:55
S42-5　一細胞ビデオマススコープ法によるディファレンシャル分子解析
広島大院医歯薬　津山　尚宏

11:55～12:00
総括
昭和大薬　大野　賢一

3月30日（火）9:00〜12:00　　T-E会場　津島　A41

一般シンポジウムS43
創薬を支える有機合成化学：有機分子構築の新概念・新手法
Synthetic Organic Chemistry in Drug Discovery: New Concept and Methodology for the Construction of Organic Molecules

オーガナイザー：加藤　正、佐治木　弘尚

9:00〜9:03
オーガナイザー挨拶
東北薬大　加藤　正

9:03〜9:28
S43-1　[2+2+2]環化付加反応を基盤とした多環式芳香族化合物の合成
北大院薬　佐藤　美洋

9:28〜9:53
S43-2　ハロゲンと金属の不思議な関係：新規ハロゲン化合物合成反応の提案
新潟薬大薬　杉原　多公通

9:53〜10:18
S43-3　ニトロンの環化付加反応を用いるアミノ酸型天然物の合成研究
昭和薬大　田村　修

10:18〜10:43
S43-4　プローブを指向したカテキン類の合成研究
静岡県大薬　菅　敏幸

10:43〜11:08
S43-5　多様性指向型生理活性天然物の全合成と機能解明に向けたアプローチ
東北大院薬　土井　隆行

11:08〜11:33
S43-6　複雑な含窒素多環状天然物の合成研究：negative を positive へ
北里大生命研　砂塚　敏明

11:33〜11:58
S43-7　高度置換アルカロイド合成の新戦略
長崎大院医歯薬　畑山　範

11:58〜12:00
総括
岐阜薬大　佐治木　弘尚

3月30日（火）9:00〜12:00　　T-L会場　津島　B41

一般シンポジウムS44
新型インフルエンザ　―その予防と対策の検証―
Novel Influenza　— Review of the Recent Pandemic of the Novel Influenza (H1N1) —

オーガナイザー：天野　富美夫、木戸　博

9:00〜9:35
S44-1　はじめに　―新型インフルエンザの発生と流行（2009年4月〜）を振り返って
大阪薬大　天野　富美夫

9:35〜10:10
S44-2　新型インフルエンザ対策における行政の役割と課題
厚労省健康局　兵頭　利之

10:10〜10:45
S44-3　インフルエンザ治療薬の有効性と問題点
神奈川警友会けいゆう病院　菅谷　憲夫

10:45～11:20
S44-4　インフルエンザワクチン開発とその問題点
化血研　城野　洋一郎

11:20～11:55
S44-5　インフルエンザ感染の重症化機序と、その予防と治療
徳島大疾患酵素研セ　木戸　博

11:55～12:00
S44-6　おわりに　―わが国の新型インフルエンザ対策の実際と今後の展望―
大阪薬大　天野　富美夫

3月30日（火）9:00～11:00　T-N会場　津島　E21

一般シンポジウムS45
若手シンポジウム　生薬学の伝統と革新―教育・研究・臨床の立場から―
A Heritage of Pharmacognosy and Its Innovation — Trials from Acdemic, Investagative and Clinical Perspective
オーガナイザー：伊藤　美千穂、池田　剛、久城　哲夫

9:00～9:05
趣旨説明
京大院薬　伊藤　美千穂

9:05～9:30
S45-1　生薬学と医療薬学の融合～「臨床生薬学」の紹介
名市大院薬　牧野　利明

9:30～9:55
S45-2　生薬・薬用植物における国際調和の動向について
医薬基盤研薬植セ　川原　信夫

9:55～10:20
S45-3　山科植物資料館の歴史とその取組み―製薬企業の薬用植物園の一例―
日本新薬植物館　山浦　高夫

10:20～10:45
S45-4　薬剤師にとって『生薬学』とは
徳島大院ヘルスバイオ　川添　和義

10:45～11:00
総合討論

3月28日（日）10:00～12:00　S-B会場　就実　E401

一般シンポジウムS46
創薬標的としてのプロスタグランジンの局所動態：生合成から代謝まで
Local Dynamics of Prostaglandins as New Drug Targets: From their Biosynthesis to Metabolism
オーガナイザー：浅野　真司、杉本　幸彦

10:00～10:24
S46-1　膜結合型プロスタグランジンE合成酵素mPGES-1は新たな創薬の標的となりうるか
昭和大薬　原　俊太郎

10:24～10:48
S46-2　プロスタグランジン-ケモカイン相互作用の生理的役割
熊本大院医薬　杉本　幸彦

10:48～11:12
S46-3　PGE2の腎皮質局所クリアランスと代謝における新規PGトランスポーターの役割
阪大院医　波多野　亮

11:12～11:36
S46-4　尿細管糸球体フィードバック機構、血圧制御におけるPGの機能
東北大院医　松原　光伸

11:36～12:00
S46-5　新規肺高血圧症治療薬である選択的かつ持続性prostacyclin受容体アゴニストNS-304の開発
日本新薬　桑野　敬市

3月28日（日）9:00～12:00　S-C会場　就実　E402

一般シンポジウムS47
脳血管疾患の治療とその予後改善におけるエビデンスの確立に向けて―基礎から臨床への発信―
The Establishment of “Evidence Based Medicine” for the Treatment of Cerebral Stroke
― Bridging Basic and Clinical Sciences ―
オーガナイザー：徳山　尚吾、福永　浩司

9:00～9:05
本シンポジウム開催の主旨説明
神戸学院大薬　徳山　尚吾

9:05～9:30
S47-1　新規アルツハイマー治療薬の認知機能改善とうつ症状改善作用の神経機序
東北大院薬　福永　浩司

9:30～9:55
S47-2　脳虚血応答性遺伝子 Ifrd1 の機能解析
金沢大院薬　宝田　剛志

9:55～10:20
S47-3　脳梗塞および脳出血に対する抗血小板剤シロスタゾールの保護作用
岐阜薬大　原　英彰

10:20～10:45
S47-4　GIRK チャネル阻害作用をもつ薬物の脳梗塞後排尿障害に対する新規改善作用
熊本大院医薬　高濱　和夫

10:45～11:10
S47-5　脳虚血ストレスによる糖代謝調節機構の破綻と神経障害
神戸学院大薬　藤田（濱邊）　和歌子

11:10～11:35
S47-6　新規 *in vitro* BBB モデルによるバリア機能障害メカニズムの解析
北大院薬　南　雅文

11:35～12:00
総合討論

3月28日（日）10:00～12:00　S-D会場　就実　T611

一般シンポジウムS48
アレルギー性疾患におけるヒスタミン研究の新展開
New Development of Histamine Research in Allergic Inflammation
オーガナイザー：福井　裕行、赤木　正明

10:00～10:05
オーガナイザー挨拶
徳島文理大薬　赤木　正明

10:05～10:30
S48-1　ヒスタミン H_1 受容体遺伝子発現機構のアレルギー疾患における病理学的意義
徳島大院HBS研究部　水口　博之

10:30～10:55
S48-2　増悪化アレルギー性皮膚炎症におけるヒスタミンの役割
東北大院薬　平澤　典保

10:55～11:00
休憩

11:00～11:25
S48-3　アレルギー性鼻炎におけるヒスタミンH_4受容体の役割
岡山大薬　矢野　春奈

11:25～11:50
S48-4　気管支喘息の病態におけるヒスタミンの役割と抗ヒスタミン薬の臨床的有用性の再検証
岩手医大医　山内　広平

11:50～12:00
総括

3月28日（日）14:30～17:15　S-A会場　就実　R601

一般シンポジウムS49
インフルエンザの制圧に向けた新しい挑戦
New Challenges for the Control of Influenza
オーガナイザー：鈴木　隆、高田　礼人

14:30～14:35
オーガナイザー挨拶
静岡県大薬　鈴木　隆

14:35～15:00
S49-1　糖鎖ウイルス学からのアプローチ
中部大生命健康科学　鈴木　康夫

15:00～15:25
S49-2　分子機能構造に基づくインフルエンザウイルス制御法開発
筑波大院人間総合科学　永田　恭介

15:25～15:50
S49-3　パンデミックインフルエンザウイルスに見出されたノイラミニダーゼの機能
静岡県大薬　高橋　忠伸

15:50～16:15
S49-4　インフルエンザウイルスの抗原変異予測と亜型間交差感染防御
北大人獣セ　高田　礼人

16:15～16:40
S49-5　新型インフルエンザワクチンの現状と課題
阪大微研　奥野　良信

16:40～17:05
S49-6　細胞性免疫誘導型インフルエンザワクチン
国立感染研　内田　哲也

17:05～17:15
総括

3月28日（日）13:30〜15:30　　S-B会場　就実　E401

一般シンポジウムS50

G蛋白質共役型受容体の構造、モデリング、複合体形成からみえる新たな方向性

Perspective on G Protein-coupled Receptors from their Structure, Function, Complex Formation, Modeling and Ligand Development

オーガナイザー：黒瀬　等、周東　智

13:30〜13:55
S50-1　イカロドプシン光反応初期中間体のX線結晶構造解析
名大院理　村上　緑

13:55〜14:20
S50-2　分子モデリング技術によるGPCR-リガンド複合体予測
産総研生命情報工学セ　広川　貴次

14:20〜14:45
S50-3　三次元的多様性を鍵とするGPCRリガンドの設計：ヒスタミンH3及びH4受容体リガンドの創出
北大院薬　周東　智

14:45〜15:10
S50-4　心筋IKsチャネル分子複合体を介した心臓再分極のβアドレナリン性制御
東医歯大難研　黒川　洵子

15:10〜15:30
S50-5　β遮断薬の新しい薬理作用
九大院薬　仲矢　道雄

3月28日（日）15:30〜17:00　　S-B会場　就実　E401

一般シンポジウムS51

てんかん研究の展望〜新しい抗てんかん薬の開発に向けて〜

A View of Epilepsy Study: A Development for New Anti-epileptic Drugs

オーガナイザー：龜井　千晃、荒木　博陽

15:30〜15:35
オーガナイザー挨拶
岡山大薬　龜井　千晃

15:35〜15:55
S51-1　ヒスタミンH_3受容体拮抗薬の新規抗てんかん薬としての可能
岡山大薬　龜井　千晃

15:55〜16:15
S51-2　電位依存性ナトリウムチャネル*SCN1A*遺伝子変異に伴うてんかん
岡山大院医歯薬　大守　伊織

16:15〜16:35
S51-3　ペンチレンテトラゾール誘発キンドリングマウスの情動行動評価
愛媛大院医　武智　研志

16:35〜16:55
S51-4　臨床における新規抗てんかん薬の薬物相互作用
岡山大病院薬　上島　智

16:55〜17:00
総括

3月28日（日）13:30〜16:30　　S-C会場　就実　E402

一般シンポジウム S52
血管病発症のシグナル伝達と新たな治療戦略
Signal Transduction in the Development of Vascular Disease and New Therapeutic Strategy
オーガナイザー：西田　基宏、岩本　隆宏

13:30〜13:35
オーガナイザー挨拶
九大院薬　西田　基宏

13:35〜14:05
S52-1　交感神経性血管トーヌス調節における TRPC3/NCX1 共役系の役割
福岡大医　喜多　紗斗美

14:05〜14:35
S52-2　血管内皮のカルシウムシグナリングを介した血流感知機構
東大院医　山本　希美子

14:35〜15:05
S52-3　血管内皮細胞間接着を制御するシグナル伝達機構
国循セ循環器形態部　福原　茂朋

15:05〜15:35
S52-4　血管周囲神経リモデリングにおけるアンジオテンシン受容体の役割
岡山理大理　芳原　成美

15:35〜16:05
S52-5　抗動脈硬化性・抗炎症性作用におけるスタチンと高密度リポ蛋白質のクロストーク
群馬大生体調節研　岡島　史和

16:05〜16:25
S52-6　TRPC チャネルのリン酸化による血管緊張性の制御
九大院薬　西田　基宏

16:25〜16:30
総括
福岡大医　岩本　隆宏

3月28日（日）13:30〜15:30　　S-D会場　就実　T611

一般シンポジウム S53
マスト細胞研究の新たな展開
Recent Advances in Mast Cell Research
オーガナイザー：田中　智之、西田　圭吾

13:30〜13:35
オーガナイザー挨拶（内容紹介）
岡山大院医歯薬　田中　智之

13:35〜13:58
S53-1　皮膚型マスト細胞モデルの確立とその解析
岡山大院医歯薬　田中　智之

13:58〜14:21
S53-2　マスト細胞生物学における脂質ネットワーク
都臨床研　武富　芳隆

14:21〜14:44
S53-3　アレルギー応答における亜鉛トランスポーターの役割
理研・免疫・アレルギー　西田　圭吾

14:44～15:07
S53-4　アレルギーにおけるTh17細胞とマスト細胞
東大医科研　中江　進

15:07～15:30
S53-5　ヒトアレルギー疾患の治療標的としての高親和性IgE受容体FcεRIβ鎖
日本大院医　岡山　吉道

3月29日（月）9:00～12:00　S-B会場　就実　E401

一般シンポジウムS55
薬学研究を拓くホワイトバイオテクノロジーの最前線
The Frontiers of White Biotechnology and the Development of Pharmaceutical Sciences
オーガナイザー：芝崎　誠司、植田　充美

9:00～9:02
オーガナイザー挨拶
兵庫医療大薬　芝崎　誠司

9:02～9:15
S55-1　酵母分子ディスプレイを用いた新しい物質変換系の創製
兵庫医療大薬　芝崎　誠司

9:15～9:40
S55-2　疾患マーカーとしてのD-アミノ酸と微生物酵素によるその検出法の開発
名大院生命農　吉村　徹

9:40～10:05
S55-3　海洋中のカロテノイド産生微生物の探索並びにその生産性の向上に関する研究
近畿大農　坂上　吉一

10:05～10:30
S55-4　微生物に学ぶビタミンB12代謝のシステム酵素学
岡山大院自然科学　虎谷　哲夫

10:30～10:55
S55-5　オリゴペプチド合成を触媒する新規アミノ酸リガーゼ
早稲田大先進理工　木野　邦器

10:55～11:20
S55-6　醗酵天然物からの医薬品開発
―微生物の能力を最大限に引き出した生産技術の開発―
アステラス製薬生物工学研　長尾　康次

11:20～11:45
S55-7　ファージ表層提示法による抗体酵素の高活性化
大阪府大院理　藤井　郁雄

11:45～11:58
S55-8　分子デイスプレイ法による革新的有機溶媒内酵素反応の開拓
京大院農　植田　充美

11:58～12:00
総括
京大院農　植田　充美

3月29日（月）9:00〜12:00　　S-C会場　就実　E402

一般シンポジウムS56
血液凝固に関わる因子・薬物と血液製剤の新展開
Recent Development in Blood Coagulation Factors, Coagulation-related Drugs and Blood Products
オーガナイザー：石井　秀美、辻　勉

9:00〜9:30
S56-1　血液凝固因子と抗凝固薬：現状と展望
順天堂大医　森田　隆司

9:30〜10:00
S56-2　変異型セルピンの細胞内蓄積と細胞応答
富山大院医薬　今中　常雄

10:00〜10:30
S56-3　ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）の臨床
兵庫県立淡路病院　松尾　武文

10:30〜11:00
S56-4　ゲノム薬理学によるビタミンK拮抗薬に対する応答性の個人差の解明と臨床応用の進歩
明治薬大　越前　宏俊

11:00〜11:30
S56-5　新規DIC治療薬「トロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）」の開発経緯
―臨床開発を中心として―
旭化成ファーマ　青木　喜和

11:30〜12:00
S56-6　新医薬品の評価と血液製剤
医薬品医療機器総合機構　豊島　聰

3月29日（月）10:00〜12:00　　S-D会場　就実　T611

一般シンポジウムS57
生体防御機構におけるイオンチャネル機能研究の新展開と創薬
'Defensive' Ion Channels as Potential Therapeutic Targets
オーガナイザー：今泉　祐治、金子　周司

10:00〜10:05
はじめに

10:05〜10:30
S57-1　B細胞におけるSTIM依存的カルシウム流入の生理的役割
阪大免疫学フロンティア研究セ／理研　黒崎　知博

10:30〜10:50
S57-2　免疫系におけるCa^{2+}活性化K^{+}チャネルの役割と創薬への応用
名市大院薬　大矢　進

10:50〜11:15
S57-3　痛みの慢性化メカニズムにおけるP2Xイオンチャネルの役割
九大院薬　津田　誠

11:15〜11:35
S57-4　脳内防御を担うミクログリアの活性化制御におけるTRPチャネルの役割
京大院薬　白川　久志

11:35〜12:00
S57-5　酸化的ストレス感受性Ca^{2+}チャネルTRPM2の免疫応答細胞における生理的役割
京大院薬／京大院工　山本　伸一郎

3月29日（月）14:30〜17:30　　S-A会場　就実　R601

一般シンポジウムS58
薬学における薬理学の新しい像を求めて
In Search of New Perspective on Pharmacology in Pharmaceutical Sciences
オーガナイザー：赤池　昭紀、米田　幸雄

14:30〜14:40
オーガナイザー挨拶
京大院薬　赤池　昭紀

14:40〜15:10
S58-1　脳システムから疾患を捉える次世代の神経薬理学
東大院薬　池谷　裕二

15:10〜15:40
S58-2　痛みによる不快情動生成機構解明のための行動薬理学研究
北大院薬　南　雅文

15:40〜16:10
S58-3　創薬標的としてのイオンチャネル研究の現状と展望
名市大院薬　今泉　祐治

16:10〜16:20
休憩

16:20〜16:50
S58-4　下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチドPACAP：新しい精神疾患パスウェイ
阪大院薬　橋本　均

16:50〜17:20
S58-5　ATP受容体から難治性慢性疼痛メカニズムを探る
九大院薬　津田　誠

17:20〜17:30
総括
金沢大院薬　米田　幸雄

3月29日（月）13:30〜16:30　　S-B会場　就実　E401

一般シンポジウムS59
RNA研究の最前線：RNA動態制御の分子基盤から創薬応用まで
Front Lines of RNA Research: From Molecular Basis of Regulation of RNA Dynamics to Development of New Drugs
オーガナイザー：星野　真一、秋光　信佳

13:30〜13:35
オーバービュー
東大RIセ　秋光　信佳

13:35〜13:55
S59-1　FLJヒト全長cDNAおよびヒト遺伝子におけるmRNAの多様性
東大院薬　磯貝　隆夫

13:55〜14:15
S59-2　翻訳抑制因子の局在と活性調節
理研　松本　健

14:15～14:35
S59-3　RNAを介するMAPキナーゼシグナルの新たな制御機構と創薬への展望
近畿大薬院　杉浦　麗子

14:35～14:55
S59-4　細胞内mRNAのリアルタイム定量と1分子動態解析
東大院薬　船津　高志

14:55～15:05
休憩

15:05～15:25
S59-5　癌抑制遺伝子産物Tobによる遺伝子発現制御
名市大院薬　星野　真一

15:25～15:45
S59-6　小分子非コードRNAエフェクター複合体の形成過程と機能
東大分生研　泊　幸秀

15:45～16:05
S59-7　哺乳動物細胞の核局在型ノンコーディングRNAであるMALAT1の解析
東大RIセ　秋光　信佳

16:05～16:25
S59-8　RNAの造形力を利用した創薬
東大医科研　中村　義一

16:25～16:30
総括
名市大院薬　星野　真一

3月29日（月）13:30～16:30　S-C会場　就実　E402

一般シンポジウムS60
遺伝情報デコードによる生体調節
Biological Regulation by Decoding Genetic Information
オーガナイザー：大熊　芳明、柳澤　純

13:30～13:32
はじめに
富山大院薬　大熊　芳明

13:32～13:57
S60-1　核内メチル化反応を支えるタンパク質ネットワーク
東北大医　五十嵐　和彦

13:57～14:22
S60-2　化学発がん過程において発現上昇するクロマチン関連因子の解析
名市大院薬　長田　茂宏

14:22～14:47
S60-3　核内受容体の新しいネットワークと化学物質による制御
筑波大先端学際領域科学研究セ　柳澤　純

14:47～15:12
S60-4　ヒトLipin 1遺伝子の発現制御機構解析
阪大院薬　土井　健史

15:12～15:37
S60-5　メディエーター複合体の転写制御における分子スイッチ機能の解析
富山大院薬　大熊　芳明

15:37～16:02
S60-6　ショウジョウバエの複眼を翅へと改変するwinged eyeによるエピジェネティック制御
東北大院薬　倉田　祥一朗

16:02～16:27
S60-7　多能性幹細胞からの始原生殖細胞分化を制御する分子機構
東北大加齢医学研　松居　靖久

16:27～16:30
総括
筑波大先端学際領域科学研究セ　柳澤　純

3月29日（月）15:00～17:00　S-D会場　就実　T611

一般シンポジウムS61
若手薬理学者による脳疾患への挑戦―分子から個体レベルに至る病態解明と創薬を目指して―
Novel Approaches to Brain Diseases by Young Pharmacologists: From Molecular to Behavioral Analyses for Discovering Potential Drug Targets
オーガナイザー：小山　隆太、泉　安彦

15:00～15:03
オーガナイザー挨拶
東大院薬　小山　隆太

15:03～15:24
S61-1　熱性けいれん後の脱分極性$GABA_A$受容体シグナリングによるてんかん脳の異所性神経回路の形成
東大院薬　小山　隆太

15:24～15:48
S61-2　アミロイドβ蛋白質依存性アルツハイマー病病変の研究
京都薬大　高田　和幸

15:48～16:12
S61-3　脳虚血におけるバナジウム化合物の神経・血管保護作用
東北大院薬　塩田　倫史

16:12～16:36
S61-4　発達期大脳皮質におけるDISC1の役割：ドパミン作動性神経系異常に伴う成熟期行動変化について
ジョンズホプキンス大医／名大院医／名城大院薬　丹羽　美苗

16:36～17:00
S61-5　内在性ドパミンとプロテアソーム活性によるドパミンニューロン死の制御機構
京大院薬　泉　安彦

大学院生シンポジウム　Graduate Symposia

3月29日（月）15:00〜17:00　　C-L会場　グランヴィア4F　フェニックスイースト

大学院生シンポジウム GS01
創薬を支える次世代型DDS技術・製剤技術
Next Generation of DDS and Formulation Technologies for Drug Discovery
オーガナイザー：田中　晃、安野　貴幸

15:00 〜 15:05
趣旨説明
東京薬大薬　田中　晃

15:05 〜 15:25
GS01-1　吸入用微粒子製剤を用いた核酸デリバリー
名城大薬　細江　慎吾

15:25 〜 15:45
GS01-2　3成分混合粉砕ナノ微粒子による難水溶性薬物の吸収性改善
千葉大院薬　ワナウォンタイ　チャルームポン

15:45 〜 16:05
GS01-3　感染症対策に資する画期的「貼るワクチン」の開発
阪大院薬　松尾　一彦

16:05 〜 16:25
GS01-4　マンノース修飾ナノバブルリポプレックスと超音波照射による標的細胞選択的かつ高効率遺伝子導入法の開発
京大院薬　運　敬太

16:25 〜 16:45
GS01-5　新規遺伝子導入用キャリアとしてのデンドリマー(G2)/グルクロニルグルコシル-b-シクロデキストリン結合体の構築と有用性評価
熊本大院薬　安野　貴幸

16:45 〜 17:00
GS01-6　機能性ペプチドCH2R4H2Cを母体としたsiRNAデリバリーシステムの開発
東京薬大薬　田中　晃

3月30日（火）9:30〜12:00　　C-E会場　コンベンションセンター　イベントホールB

大学院生シンポジウム GS02
バイオ医薬開発への若き挑戦
The Challenge for Development of Biotechnology-based Medicine by Young Scientist
オーガナイザー：吉川　舞、山下　琢矢

9:30 〜 9:40
オーガナイザー挨拶
阪大院薬　吉川　舞

9:40 〜 10:05
GS02-1　抗体–薬物複合体；Antibody-drug conjugateの開発に適う細胞内侵入抗体の効率的探索法
阪大院薬　吉川　舞

10:05 〜 10:30
GS02-2　細胞接着ペプチドの医薬応用　〜再生医療に向けて〜
東京薬大院薬　山田　雄二

10:30 〜 10:40
休憩

10:40 〜 11:05
GS02-3　定量的標的プロテオミクスによる膵臓癌薬剤感受性機構の解明
東北大院薬　大峰　健

11:05～11:30
GS02-4　DNAリン酸部との静電的相互作用を利用した塩基欠損箇所認識分子の開発
九大院薬　阿部　由紀子

11:30～11:55
GS02-5　新規バイオ医薬の開発を目指した腫瘍組織血管特異抗体の創製
医薬基盤研　山下　琢矢

11:55～12:00
総括
医薬基盤研　山下　琢矢

3月28日（日）10:00～12:00　T-H会場　津島　B21

大学院生シンポジウムGS03
分子環境薬学の動向
Trend in Environmental and Molecular Pharmaceutical Sciences
オーガナイザー：木村　幸由、外山　喬士、安藤　正樹、安藤　基純、武田　知起

10:00～10:03
オーガナイザー挨拶
筑波大人間総合科学　外山　喬士

10:03～10:26
GS03-1　メチル水銀感受性決定因子としての脱ユビキチン化酵素Ubp6の役割
東北大院薬　木村　幸由

10:26～10:49
GS03-2　メチル水銀によるセンサータンパク質の翻訳後修飾
筑波大人間総合科学　外山　喬士

10:49～11:12
GS03-3　海馬長期増強（LTP）における亜鉛の領域依存的効果
静岡県大院薬　安藤　正樹

11:12～11:35
GS03-4　化学物質の芳香環水酸化に伴う遺伝子発現撹乱および側鎖構造による活性制御
名城大薬　安藤　基純

11:35～11:58
GS03-5　ダイオキシン母体曝露による性行動障害のインプリンティングとその機構
九大院薬　武田　知起

11:58～12:00
総括
名城大薬　安藤　基純

3月28日（日）13:30～15:30　T-E会場　津島　A41

大学院生シンポジウムGS04
次世代の創薬研究を担う若手研究者のチカラ　～大学におけるメディシナルケミストリー～
The Power of Young Researcher Responsible for Medicinal Chemistry in Following Generation
オーガナイザー：本島　和典、篠崎　亮介

13:30～13:36
オーガナイザー挨拶
東大分生研　本島　和典

13:36～13:54
GS04-1　p53阻害作用による2-ヘテロ置換1,3-アゾール類の化学療法剤防護効果とその構造活性相関
岐阜薬大　三浦　幸生

13:54～14:12
GS04-2　2,6-dimethylnitrobenzeneを一酸化窒素（NO）放出部位とした二光子励起作動型NO放出剤の開発
名市大院薬　菱川　和宏

14:12～14:30
GS04-3　変異型ロドプシンのフォールディングを促進するロドプシンリガンドの創製研究
―網膜色素変性症への応用を目指して―
東大分生研　大金　賢司

14:30～14:48
GS04-4　SBDDを用いた新規PNP阻害剤の創製研究
東京薬大薬　谷津　智之

14:48～15:06
GS04-5　新規抗菌剤開発を指向したMraY阻害天然物ムライマイシン類の合成研究
北大院薬　谷野　哲也

15:06～15:24
GS04-6　シクロオキシゲナーゼ-1（COX-1）阻害剤の開発意義とその創出
岡山大院医歯薬　深井　良祐

15:24～15:30
総括
岡山大院薬　篠崎　亮介

3月28日（日）15:30～17:30　S-D会場　就実　T611

大学院生シンポジウムGS05
創薬・治療戦略への架け橋となる薬理研究～病態解明による治療への薬理学的アプローチ～
Pharmacologic Research for Leading to Drug Development and Treatment Strategy
～Pharmacological Approach to Treatment by Carification of the Pathology～
オーガナイザー：合田　光寛、山本　由似

15:30～15:36
オーガナイザー挨拶
東北大院薬　山本　由似

15:36～15:54
GS05-1　異常行動モデルとしての薬物誘発性ジャンピング行動に対するタミフルの影響とその防御法に関する研究
福岡大薬　別府　竜弥

15:54～16:12
GS05-2　高血糖ストレスによるNOSを介した腸管P糖タンパク質の機能変容
神戸学院大薬　名和　文花

16:12～16:30
GS05-3　身体合併症状を有する精神疾患患者の薬学的管理について
県宮崎病院薬／九大院薬　岩切　詩子

16:30～16:48
GS05-4　心臓型脂肪酸結合蛋白質は中枢ドパミン神経活動を調節する
東北大院薬　山本　由似

16:48～17:06
GS05-5　TRPV1のモルモット下気道における発現と分布―難治性咳発現との関わり
熊本大院薬　花園　めぐみ

17:06～17:24
GS05-6　Nerve growth factor（NGF）によるマウス腫瘍増殖抑制
岡山大院薬　合田　光寛

17:24～17:30
総括
岡山大院薬　合田　光寛